

小中一貫教育本格実施！ 町内5学園、開園！

小中一貫・CS 通信

NO.3 R1.6.25

幕別町教育委員会 学校教育推進員

各学園の運営協議会が5月中に開催され、コミュニティ・スクール（CS）の第一歩が踏み出されました。6月11日（火）には、第1回幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議が開かれ、会長にまくべつ学園の喜多学園長が、副会長に札内東学園の秦学園長がそれぞれ選出されました。各学園の様子も交流され、CSで行われる熟議体験も行われました。今年から小中一貫教育は推進ロードマップの第2期に入ります。小中一貫校である学園の充実を図るとともに、CSの体制構築も少しずつ進めていくこととなります。その口火を切る連絡会議の様子をお知らせします。

第1回幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議 開催！ 6/11



6月11日、札内コミュニティプラザで、第1回幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議が開かれました。各学園長、各校の小中一貫教育コーディネータ、わかば幼稚園を含む運営協議会会長、町P連代表など総勢29名が集まりました。

会議は菅野教育長の開会挨拶で始まり、この会議の趣旨についての説明、互選による会長・副会長の選出、小中一貫教育とCS事業のこれまでの経緯説明と進みました。

その後、5つの学園から今年度の取組の報告がされ情報共有がなされました。

熟議体験も盛り上がり CS推進の力となる「熟議」体験も行われ、学園ごとのテーブルで協議を行いました。「小中一貫教育の推進と地域との関わり」とのテーマで、学園から地域に還元できるもの、地域の資源で学園に生かせるものをそれぞれ考え、分類していきました。慣れない「熟議」に、最初は「イメージがわからない」と戸惑うグループもありましたが、次第に盛り上がり白熱した話し合いが続きました。

各学園からの発表では、参考になるアイデアが数多く出され、参加者は興味深く聞き入っていました。今後、もっとたくさんの方々と大小さまざまな協議を重ねていけたら、どれだけたくさんのアイデアが出てくるのか、その期待がふくらむ交流となりました。



各学園の特色を生かして！ 「熟議」後、「各地域の状況が違う中でどの程度まで決定し、進めていけばいいのか」との質問が出されました。「条件の違う地域を5つも抱える幕別町は全国的にも珍しく、それぞれの地域特性を生かしながら独自の学園を作り上げることが求められている」との回答がありました。最後に、学園を支えるエンジンとしてCSが機能するように引き続きがんばろう、との喜多会長の閉会挨拶で会議の幕を閉じました。